

首都圏に住むみなさん！

日米政府の合意により、沖縄県の名護市・辺野古に新基地がつけられようとしています。
60年余りも米軍基地の存在に苦しめられている沖縄に、新たに米軍基地をつくることを許してはいけません。

「沿岸案」は米軍の軍事要塞化

日米両政府は、「辺野古沿岸案」（大浦湾からキャンプシュワブ南の沿岸部）を発表した。軍港の付設も予想される。沖縄北部地域を米軍の軍事要塞にする計画だ。

「沿岸案」は自然破壊

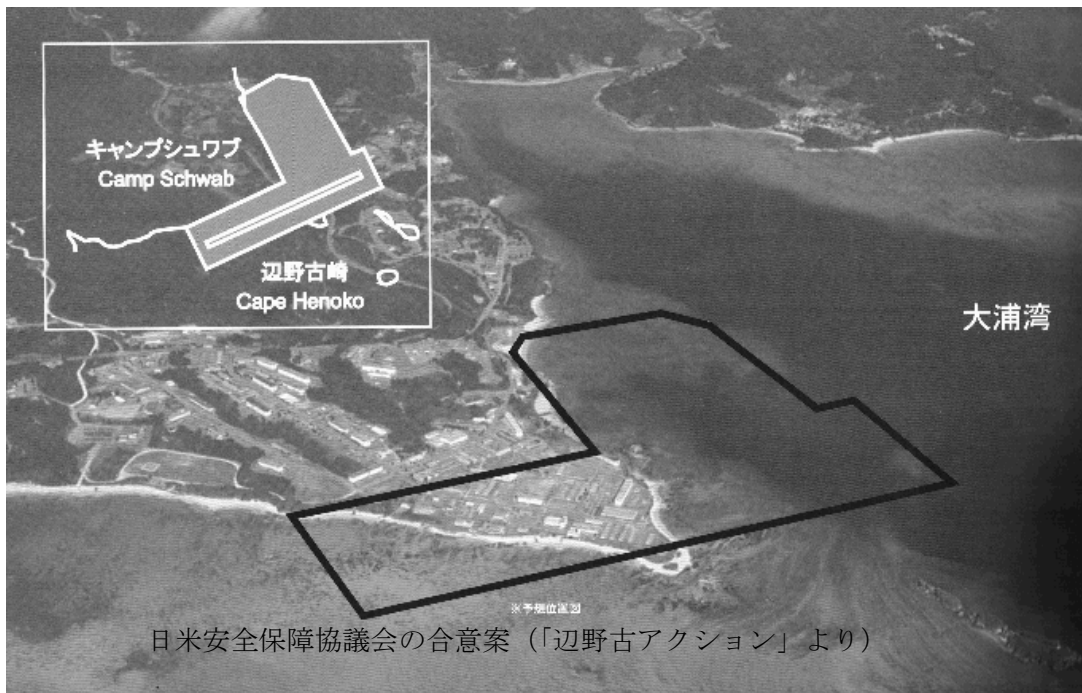
辺野古の海に隣接する大浦湾。ジュゴンやサンゴなど多様な生物の宝庫である大浦湾の大自然が破壊される。陸には遺跡もある。アメリカではジュゴン保護のための訴訟が起こされ、世界の環境保護団体、動物愛護団体も反対している。

県も市も地元 13 区も民も反対

地元の意見も聞かずに決められたこの案に、沖縄県民の8割以上が反対している。3月5日には沖縄県民総決起大会が開催される。

負担軽減はどうか？

日本の米軍基地の実に75%が国土面積0.6%の沖縄に集中している。小泉首相も沖縄の負担軽減を口にしなが、新たな基地を沖縄に押しつけている。



普天間基地は即時閉鎖を

「世界一危険な普天間」と言ったのは、米国のラムズフェルド国防長官。その普天間返還を発表しておきながら、すでに10年を経過した。2004年8月13日の普天間のヘリコプター落下事故を忘れてはならない。住民の安全を考えるならば、まずは普天間基地を閉鎖をすべきだ。

米軍再編は基地強化

米軍基地は、近隣諸国を脅かし、遠くアフガンやイラクへの侵略戦争に使われている。「米軍再編」の「中間報告」＝「日米同盟 未来のための変革と再編」は、「対テロ」戦争という名の、アメリカによる全地球的な先制攻撃戦争に在日米軍

基地を指令・情報・作戦・出撃中枢として再編し、かつ自衛隊を最前線の戦闘部隊として活用するためのもの。

自衛隊基地にも反対

米軍基地を自衛隊と共用で使用したり、自衛隊に移管することも政府が目論んでいる。現に全国で日米の合同軍事演習が盛んに行なわれている。自衛隊への

移管や共用使用も、沖縄の基地負担を定着させることになる。

思いやり予算はやめよう

年間6000億円といわれる思いやり予算が、米軍を日本に沖縄に招いている。

1兆円近くの米海兵隊員のグアム移転費用を、なぜ私たちの税金で支払わないといけないのか。

米軍に甘いこの「思いやり」が米軍の居座りを招いている。

日米地位協定を見直そう

全国で米兵の不祥事が報道されている。あまりに不平等な地位協定を見直すべきだ。治外法権、基地汚染、環境破壊、対米譲歩を許してはいけない。

あなたもいっしょに

○辺野古のことを知ろう！ =>
下記 URL や沖縄タイムズ・琉球新報の新聞やWEBを見てください。写真集「辺野古アクション」やビデオ「辺野古の闘いの記録」を是非見てください。

○いっしょに闘おう！ =>
月曜日18時半に防衛庁前に来て下さい。
○マスメディアに訴えよう！ =>
メディアにあなたの声を届けて下さい。

辺野古への海上基地建設・ポーリング調査を許さない実行委員会 (32の市民団体)

<http://www.jca.apc.org/HHK/NoNewBase/s/NNBJ.html>

連絡先：沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック(090-3910-4140)、市民のひろば(03-5275-5989)